

わらべ館だより

7月の休館日は
16日(第3水曜日)

ギャラリー童夢 企画展 ～愛され続けた市松人形～



とき 6月19日(木)～9月16日(火)
ところ 3階ギャラリー童夢 (要入館料)
内容 江戸時代後期からの市松人形を展示

わらべくらぶ (うたう動物園なつとあそぼうコンサート)

とき 7月27日(日)
午前11時～、午後2時～
ところ いべんとほーる (要入館料)
内容 「うたう動物園」による楽しいコンサート



わらべ館夏まつり (7月19日～8月31日)

オープニングセレモニー	7月19日(土)
わらべ館紙芝居劇場	期間中の土曜日、日曜日、祝日
日替わり工作教室	7月19日(土)～7月21日(月)
日替わりステージ	7月22日(火)～7月26日(土)
おもちゃワールドPart 1	7月29日(土)～8月8日(金)

※「おもちゃ講演会」は7月13日(日)に変更になりました。

■問い合わせ先 わらべ館 (西町三丁目202・☎22-7070)

やまびこ館への招待

7月8～9日は
臨時休館します

特別展『東照宮展』

今年2003年は、徳川家康が江戸に幕府を開いてから、ちょうど400年目にあたります。

江戸幕府の礎として、長きにわたる徳川政権を見守った「東照大権現」家康を奉る東照宮。櫻 谿神社は、鳥取東照宮としてこの地に建てられたものです。



日光御山之絵図

この特別展では、東照宮の成り立ちや、鳥取をはじめ、各地の東照宮を紹介いたします。

とき 前期：8月1日(金)～9月7日(日)
後期：9月13日(土)～10月13日(月)
ところ 鳥取市歴史博物館(やまびこ館)1階 特別展示室
入館料 大人500円(小・中・高校生・70歳以上の人は無料)

■問い合わせ先 やまびこ館 (上町88・☎23-2140)

地名が全国に少なくとも七か所あったことが記されている。河内国大縣郡鳥取、和泉国日根郡鳥取、越中国新川郡鳥取、丹後国竹野郡鳥取、備前国赤坂郡鳥取、肥後国合志郡鳥取、そして因幡国邑美郡鳥取です。このうち和泉国鳥取は「止々里」とも書かれていますが、当時は「とことり」ではなく「とことり」と発音されていたのでしよう。地名の由来については、白鳥などの鳥を捕えて朝廷に献上していた「鳥取部」と呼ばれる人々が住んでいた土地というのが通説です。『日本書紀』

その功績によって「鳥取造」という姓を賜りました。この時、「鳥取部」や「拳津部」といった職業民も定められ、全国に配置されたのです。



平安時代に作られた百科事典『倭名類聚抄』(『倭名抄』と略)を見ると、「鳥取」という地名が全国に少なくとも七か所あったことが記されている。河内国大縣郡鳥取、和泉国日根郡鳥取、越中国新川郡鳥取、丹後国竹野郡鳥取、備前国赤坂郡鳥取、肥後国合志郡鳥取、そして因幡国邑美郡鳥取です。このうち和泉国鳥取は「止々里」とも書かれていますが、当時は「とことり」ではなく「とことり」と発音されていたのでしよう。地名の由来については、白鳥などの鳥を捕えて朝廷に献上していた「鳥取部」と呼ばれる人々が住んでいた土地というのが通説です。『日本書紀』

よれば、垂仁天皇の皇子ホムツツケは、成長しても口をきくことができなかつたといひます。ところがある時、空を飛ぶ白鳥の声を聞いて、初めて言葉を発したので。喜んだ天皇は、臣下のアメノユカワタナに命じてこの鳥を追わせました。ユカワタナは出雲国(あるいは但馬国)でついに白鳥を捕え、

津部に由来するものと考えられています。地名は、「生きた文化財」といわれます。大地に刻まれた祖先の記憶でもあります。古代にまでさかのぼることのできる私たちのこの「鳥取」という地名、大切にしていきたいですね。



市民図書館の司書が調べます

まちで見つけた「なんでだろ〜?」

印刷 株式会社鳥取平版社

※このコーナーでは、みなさんからの「なんでだろ〜?」を募集しています。秘書広報課 (☎20-3159) へ。